8　芸術（書道）

学校番号	１０８

平成３１年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	1
使用教科書	「書Ⅰ」　（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びます。
・篆隷行から楷書に至る様々な書体の漢字や様々な表現の仮名を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のすばらしさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表現している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート 提出作品	観察 ワークシート 提出作品	観察 ワークシート レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書写と書道 (書体の変遷)	・国語科書写と芸術科書道 ・書体の変遷 ・用具用材 (文房四宝)	○			○	a:書写と書道の類似点・相違点、書体の変遷や用具用材に興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d:書道の類似点・相違点、用具用材や書体について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	観察 ワークシート
5	漢字の書 (楷書)	・初唐の代表的な古典の臨書および鑑賞 「九成宮レイ泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」		○	○		a:楷書に関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b: 用筆法や筆使いについて理解し、表現を工夫している。 c:楷書の筆使いを身に付け、それぞれの古典の特徴を表現している。 d:様々な古典があることをことを理解し、そのよさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
6	漢字の書 (行書)	・行書の代表的な古典の臨書および鑑賞 「蘭亭序」		○	○		a:行書に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:行書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:行書の用筆方法を身に付けその特徴を表現している。 d:古典の成り立ちに興味を持ち、そのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
7	漢字の書 (篆書)	・特徴のある書体を知る ・自分の名前の篆書を調べる	○			○	a:篆書に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:篆書の用筆方法を身につけその特徴を表現している。 d:書体の成り立ちと自分の名前の表現に興味を持ち、そのよさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品

9	篆刻	・名前を白文印と朱文印の二種類を制作	○	○			a:名前の書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c: 思い切った運刀による精彩のある線で表現する技法を身に付け表現している。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
10	漢字の書（隷書）	・代表的な隷書の臨書および鑑賞「曹全碑」		○	○		a:隷書に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:隷書体の基本的な用筆方法を理解し、工夫している。 c:隷書の用筆方法を身に付け表現している。 d:書体の成り立ちとその表現に興味を持ち美しさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
11 12	創作作品	・漢字仮名交じり書の制作（校歌・詩を書く） ・一字書の制作（53センチ×73センチの画仙紙に書き、パネル表装する）	○	○			a:日常的に使われている文字や言葉を積極的に表現しようとしている。 b:自らの発想と構想に基づいて表現工夫している。 c:用具用材による表現のちがいや工夫によって幅広い技法を身につけ表現している。 d:表現の多様性を知り、そのよさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
1 2	仮名の書	・仮名の成り立ち ・仮名の筆使い（単体・連綿）		○	○		a:仮名について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:仮名の基本的な用筆方法を理解し表現を工夫している。 c:仮名の用筆方法を身に付け表現している。 d:仮名の成り立ちやその表現に興味を持ち美しさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。